

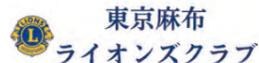


DONER FAMILY DAY

ご支援に心より御礼申し上げます。

協賛 (スポンサー) (敬称略)

法人



ロート製薬株式会社/株式会社ホワイトメディカル/千寿製薬株式会社/興和株式会社/株式会社メディカル薬出版
医療法人如水会 鈴木眼科吉小路/医療法人社団正勢会 市川なかじま眼科/医療法人社団瑤哲会 島崎眼科
医療法人社団 玉城眼科/医療法人社団 後藤眼科医院/医療法人健究社 スマイル眼科クリニック/大塚製薬株式会社
株式会社コーナン・メディカル/株式会社薬研社/熊本県ライオンズクラブ 献眼献腎献血運動協力会
株式会社モリア・ジャパン/株式会社オグラ/日本アルコン株式会社/医療法人社団藤和会 加藤眼科/わかもと製薬株式会社
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 (順不同)

個人 阿部かな子、石橋昇、上野繁幸、大久保英彦、坪田一男

ご参加者の感想

- レシピエントの方々のお気持ち、光が見えるようになった、暗闇から光のある世界になどのお話を伺い、角膜提供をして良かったのだと確信しました。温かい気持ちに包まれ、参加して本当に良かったです。(ドナーファミリー)
- 担当医と直接お話することができて良かったです。(レシピエント)
- ドナーのご家族やレシピエントの方々の声を聞かせて頂き、改めて見えることや命の尊さを噛み締めました。(スポンサー)
- 毎回出席するたびに初心に帰った気持ちになります。(医療従事者)
- 「大きな夢」の皆さんの生の声を聞けたことが感動的で、胸に迫るものがありました。(協力)

インフォメーション

第27回 ドナーファミリーの集い®

※招待制

2024年10月27日 (日)

14:00~16:00予定 会場:KDDIホール

児童劇団「大きな夢」による
アイバンクミュージカル

「パパからもらった宝物」が
映像配信にて公開中です。



詳しい情報はこちらよりご覧ください ↑

第26回 ドナーファミリーの集い®

NEWS LETTER

主催:一般財団法人 視覚健康財団

東京都新宿区信濃町35 慶應義塾大学病院2号館 地下1階

TEL: 03-3226-8033 FAX:03-6685-6753 E-mail: info@eyebank.tokyo

共催代表:東京歯科大学市川総合病院 角膜センター・アイバンク

第26回 ドナーファミリーの集い® 開催報告

2023年10月29日(日)

今年も第26回ドナーファミリーの集い®をKDDIホールに於いて開催いたしました。明け方降っていた冷たい雨も秋晴れに変わり、総勢125名の方にご参加頂き無事に終えることができました。ご来場頂きましたドナーファミリー、レシピエント、サポーター、医療従事者の皆様に心より御礼申し上げます。

ドナーファミリーの集い®はドナーとドナーファミリーへの感謝の集いです。献眼という尊いご決断をされたドナー様と愛する家族を亡くされたそのご家族に対して感謝をすると共に、移植医療について皆様に知って頂く会になればと開催させて頂いております。



共催 (公財)山形県アイバンク、(公財)静岡県アイバンク、(公財)福井県アイバンク、(公財)兵庫アイバンク、(公財)熊本県移植医療推進財団

協力 児童劇団「大きな夢」、(協)日本俳優連合、特定非営利活動法人 日本ブラインドマラソン協会、日本両棲類研究所、京都府立医大アイバンク、東京大学医学部附属病院 組織バンク、北里大学病院骨バンク、(一社)日本スキンバンクネットワーク

後援 厚生労働省、日本角膜学会、(一社)日本再生医療学会、(一社)日本抗加齢医学会、(公社)東京都眼科医会、東京麻布ライオンズクラブ、(公財)日本テレビ小鳩文化事業団、東京視覚障害者ランニングクラブ、(福)日本点字図書館、(公社)日本臓器移植ネットワーク

DONER FAMILY DAY



ご挨拶

代表理事 島崎 潤



一般財団法人 視覚健康財団
代表理事 島崎 潤

今年もドナーファミリーの集い®が10月29日に大手町のKDDIホールで開催されました。この集いは、アイバンクや角膜移植についての正しい理解を広めるとともに、アイバンク活動に関わるドナーファミリー、患者さん、アイバンク関係者、眼科医、そしてサポーターの方々が一室に会することを目的として始まり、今回で第26回となりました。主催の(一財)視覚健康財団に加え、長年本会を主催してきた東京歯科大学市川総合病院 角膜センター・アイバンク、その他のアイバンクが共催・協力として加わり、本年も開催することになりました。昨年は、3年ぶりに顔を合わせての開催となりましたが、今回はそれに加えて短時間ではありますが参加者の懇親の時間を設けることができました。顔を見ながら実際に会話を交わすことの重要性を再確認致しました。

来賓のご挨拶の後、角膜提供をご決断されたドナーファミリーと手術を受けられたレシピエントのお声を、朗読とビデオレターの形で発表しました。ドナーファミリーからの故人のお人柄の分かるエピソードの紹介は、ドナーがお亡くなりになって長年が経過しても変わらぬ愛情を持ち続けているさまを感じさせました。角膜移植をお受けになった患者さんからは、手術によって変わった日常の生活をお話いただき、ドナーへの感謝の気持ちがあふれたものとなりました。ついで医療従事者の声として、慶應義塾大学眼科の外間先生が登壇し、角膜移植を通じて得られた患者さんとの交流をお話いただきました。

プログラムの後半には、長年にわたって視覚障害や発達障害の方を対象に音楽療法を実践されてきた公益財団法人 東京ミュージック・ボランティア協会 理事長の赤星多賀子さんが登壇されました。音楽療法は、参加者が実際に楽器を手に取ってリズムに合わせて体を動かすことで心身の活性化につなげるプログラムです。会場でも皆が歌に合わせて楽器(大半が手作りの簡単なもの)を手に取って音を出すことで元気をもらって体験をしました。



厚生労働省 健康・生活衛生局
難病対策課移植医療対策
推進室室長 野田 博之様



ライオンズクラブ国際協会
330-A地区 ガバナー
阿部 かな子様



東京歯科大学市川総合病院
角膜センター・アイバンク
センター長 山口 剛史様



慶應義塾大学医学部
眼科学教室 助教
外間 梨沙様



ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
ビジョンケアカンパニー
代表取締役プレジデント
森村 純様



東京麻布ライオンズクラブ
会長 黒岩 貴様



総合司会
(株)フジテレビジョン 社会貢献
推進局 局次長 木幡 美子様



日本俳優連合
多岐川 まり子様 池水 通洋様

最後のパートでは、ドナーファミリーへの感謝の気持ちを込めて、児童劇団「大きな夢」が美しい歌声を披露してくださり清々しい気分のなか会の終了を迎えました。ここに、参加して下さった方々、スポンサーの企業団体の方々、いつも素晴らしい朗読をしてくださる日本俳優連合の皆様、会の進行になくてはならない司会の木幡美子様、および運営に努力してくれたスタッフに心より感謝の意を表します。

(公財)東京ミュージック・ボランティア協会による公演

今年(公財)東京ミュージック・ボランティア協会の方に企画としてご参加頂きました。

手話を使っの合唱、タンバリン・スズ・カスタネット・パドラドラムを皆様にお配りし、馴染みある季節の歌を合奏し、音楽を通して、心や身体、脳機能の活性化を促すプログラムを実際に体験して頂きました。

音楽と医療の繋がりをご参加の皆様にも知って頂ける機会となりました。



児童劇団「大きな夢」による合唱

児童劇団「大きな夢」の子供達より4年ぶりに生の歌声を届けて頂きました。曲はドナーファミリーでもある方が作詞をされた「ぼくのこころもありがとう」。

子供達の澄んだ歌声と凛とした表情に会場が心引き込まれました。



展示コーナー

会場入り口のホワイエにおいて、移植患者様の作品・啓発に関する展示をいたしました。



「ビーズアクセサリー」
猫、パンダ、バッグと沢山のアクセサリーを作りました。ドナーファミリーの皆様へはお土産としてお渡しいたしました。



「さをり織り」
五輪のマークの色でひと踏みひと踏み、丁寧に時間をかけて織られた姿が目につかびます。



「啓発グッズ」
ご後援・ご協力・共催団体の臓器移植やアイバンク・組織バンクに関するポスター・パンフレットを展示いたしました。